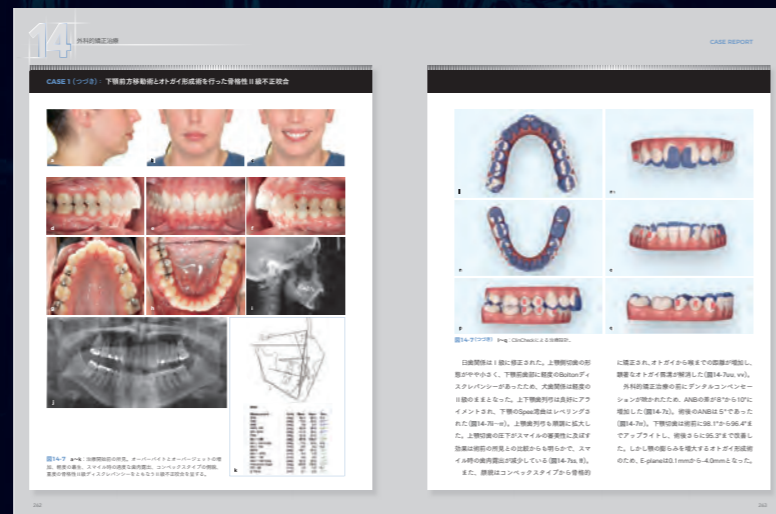
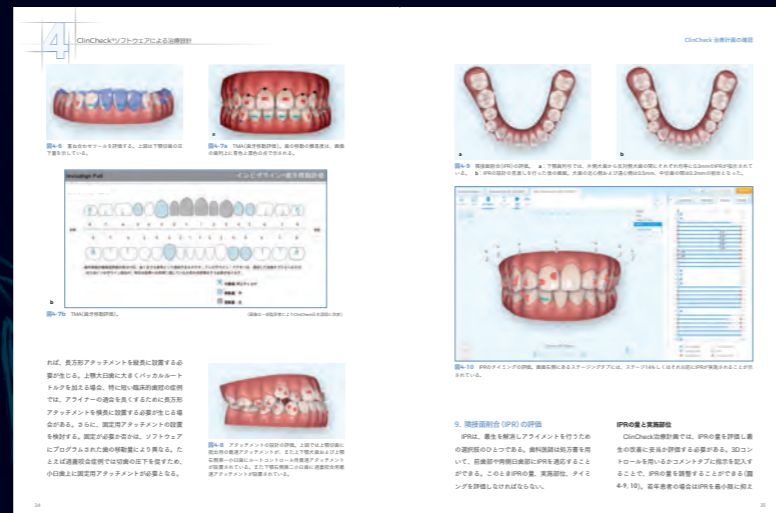


さまざまな形で注目を集める
アライナー矯正歯科治療。
はたして世界標準ではどのように
考えられ、実践されているのかを
知るために、最もふさわしい1冊!

アライナー矯正歯科治療について診断と治療計画の観点からアプローチし、生体力学や固定などの伝統的な歯科矯正学の原理をクリアアライナー治療にどのように適用するかについて解説された本書。

世界でトップクラスのアライナー臨床・研究実績をもつ著者により、アライナーで不正咬合を治療する臨床的な方法についても具体的に詳解されており、世界で行われているアライナー矯正歯科治療の理解と実践に最適1冊です。

- アライナー矯正歯科治療の理論と実際が理解できる
- 固定式装置による矯正歯科治療とアライナー治療の違いがわかる
- これまでの矯正歯科治療における原則をどのようにアライナー治療に生かせばいいのかわかる
- デジタル歯科矯正における治療計画立案と指示方法が具体的に理解できる。豊富な症例とあわせて読むことで、患者単位でどのように治療が行われているのかわかる
- 世界中でアライナー治療の普及や実践が進みつつある現在、トップクラスの症例数をもつ著者による世界標準のアライナー治療を知ることができる



これが、アライナー矯正歯科治療の
グローバルスタンダード。



[著] Sandra Tai
[監訳] 五十嵐 一 森本 太一郎 長尾 龍典



Invisalign® 認定矯正歯科医、Invisalign Top1% ダイヤモンドプロバイダー。カナダ・バンクーバーの2医院にて、1,500 症例を超えるアライナー治療を手がけてきた。他にも、『Journal of Aligner Orthodontics』誌の編集委員、Align Tech Faculty、プリティッシュコロンビア大学矯正歯科臨床助教授などを務め、クリアアライナーを用いた複数の臨床研究プロジェクトや食品医薬品局 (FDA) の臨床試験にも携わっている。また世界中で精力的に講演活動も行っており、世界中の矯正歯科医にクリアアライナーとその可能性を講じている。

CLEAR ALIGNER TECHNIQUE

アライナー矯正歯科治療

注文書 アライナー矯正歯科治療 CLEAR ALIGNER TECHNIQUE

モリタ商品コード:208040718 冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。

QUINTESSENCE PUBLISHING 日本 ●サイズ:A4判変型 ●320ページ ●定価 本体23,000円(税別)
クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウズビル
TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 https://www.quint-j.co.jp/ e-mail mb@quint-j.co.jp



1 歯科矯正装置の略史

2,000年以上に及ぶ歯科矯正の歴史において矯正装置はどのような変遷をたどってきたか、そして現在、その系図の末端に位置するアライナーと将来的な展望について論じる。

2 エッジワイズ装置とクリアアライナーの類似点・相違点

最も一般的な矯正装置として用いられてきたエッジワイズ装置と新しい矯正器具・アライナーについて、矯正力、歯との適合、固定、挺出、圧下、トルク、治療中に生じる歯根傾斜、治療メカニクスを比較して論じる。

3 クリアアライナー治療における症例選択

アライナー治療を成功させるためのカギ・症例選択について、その考え方を各種ディスクレパンシー（アーチングス/垂直的/水平的/前後的）ごとに解説する。

4 ClinCheck®ソフトウェアによる治療設計

Invisalignアライナー専用ソフトウェア・ClinCheckを用いた臨床的予知性の高い治療計画について、アタッチメントの設計、治療計画の評価、アライナー製造元とのコミュニケーション、歯の移動の設計の各項目にわたって詳解。

5 デジタルワークフローと治療のモニタリング

アライナーによるデジタル矯正歯科治療の全体的な手順と、アライナー装着中のモニタリングのステップについて、具体的に解説する。

6 トラブルシューティング、フィニッシングと保定（動的治療の仕上げ）

アライナーが歯に適合しない、装着後、側切歯に不要な圧下が生じる、アライナーに反映できない異所萌出した犬歯の扱いなど、アライナー治療で遭遇しやすいトラブルと解決法について、各状況別に詳解する。

7 叢生の治療

歯列弓拡大、唇側傾斜、隣接歯齧合(IPR)と、これまで使われてきた矯正歯科治療のメソッドをいかにアライナー治療で再現するか、症例を交えながら具体的に解説する。

8 過蓋咬合の治療

過蓋咬合用最適アタッチメントやソフトウェアによるステージングといったアライナー治療独自の手法と、これまでの矯正歯科治療で活用されてきた固定や生体力学などのメソッドをいかに融合させるか、症例を交えながら解説。

1 歴史

約2,000年前にエジプトで使われていた矯正装置の複製品。これは、歯の隙間を埋めるために使われていた。現代の矯正装置は、歯の隙間を埋めるだけでなく、歯の向きや位置を調整するために使われる。

2 固定装置

1900年、Edward H. Angleは、矯正装置の設計を革新し、固定装置を開発した。これは、歯の隙間を埋めるだけでなく、歯の向きや位置を調整するために使われる。

3 歯列矯正装置

1970年代、Edwin P. Brannstromは、歯列矯正装置を開発した。これは、歯の隙間を埋めるだけでなく、歯の向きや位置を調整するために使われる。

4 歯列矯正装置

1990年代、David S. Brodyは、歯列矯正装置を開発した。これは、歯の隙間を埋めるだけでなく、歯の向きや位置を調整するために使われる。

5 歯列矯正装置

2000年代、Invisalignは、歯列矯正装置を開発した。これは、歯の隙間を埋めるだけでなく、歯の向きや位置を調整するために使われる。

2 症例選択

症例選択の基準として、歯列矯正装置の適用範囲を明確にする。これは、歯の隙間を埋めるだけでなく、歯の向きや位置を調整するために使われる。

3 症例選択

症例選択の基準として、歯列矯正装置の適用範囲を明確にする。これは、歯の隙間を埋めるだけでなく、歯の向きや位置を調整するために使われる。

4 症例選択

症例選択の基準として、歯列矯正装置の適用範囲を明確にする。これは、歯の隙間を埋めるだけでなく、歯の向きや位置を調整するために使われる。

3 クリアアライナー治療におけるデジタルワークフロー

デジタルワークフローのステップを詳しく説明する。これは、歯の隙間を埋めるだけでなく、歯の向きや位置を調整するために使われる。

4 治療のモニタリング

治療のモニタリングの方法を詳しく説明する。これは、歯の隙間を埋めるだけでなく、歯の向きや位置を調整するために使われる。

6 過蓋咬合の治療

過蓋咬合の治療法を詳しく説明する。これは、歯の隙間を埋めるだけでなく、歯の向きや位置を調整するために使われる。

7 叢生の治療

叢生の治療法を詳しく説明する。これは、歯の隙間を埋めるだけでなく、歯の向きや位置を調整するために使われる。

7 前歯部開咬の治療

前歯部開咬の治療法を詳しく説明する。これは、歯の隙間を埋めるだけでなく、歯の向きや位置を調整するために使われる。

8 過蓋咬合の治療

過蓋咬合の治療法を詳しく説明する。これは、歯の隙間を埋めるだけでなく、歯の向きや位置を調整するために使われる。

10 II級不正咬合の治療

II級不正咬合の治療法を詳しく説明する。これは、歯の隙間を埋めるだけでなく、歯の向きや位置を調整するために使われる。

11 III級不正咬合の治療

III級不正咬合の治療法を詳しく説明する。これは、歯の隙間を埋めるだけでなく、歯の向きや位置を調整するために使われる。

12 下顎切歯抜歯治療

下顎切歯抜歯治療法を詳しく説明する。これは、歯の隙間を埋めるだけでなく、歯の向きや位置を調整するために使われる。

13 小臼歯抜歯治療

小臼歯抜歯治療法を詳しく説明する。これは、歯の隙間を埋めるだけでなく、歯の向きや位置を調整するために使われる。

14 外科的矯正治療

外科的矯正治療法を詳しく説明する。これは、歯の隙間を埋めるだけでなく、歯の向きや位置を調整するために使われる。

15 インターディシプリナリー治療

インターディシプリナリー治療法を詳しく説明する。これは、歯の隙間を埋めるだけでなく、歯の向きや位置を調整するために使われる。

9 前歯部開咬の治療

挺出用最適アタッチメントやソフトウェアによるステージングといったアライナー治療独自の手法と、これまでの矯正歯科治療で活用されてきた固定や生体力学などのメソッドをいかに融合させて開咬を改善するか、症例を交えて解説。

10 II級不正咬合の治療

治療成功のための診断と治療オプション、アライナー治療独自の手法(プレジジョンカット、パワーリッジ、ルートコントロール用最適アタッチメント、プレジジョンウイング)、IPR、II級ゴムによるエラストックジャンプ、順次遠心移動などの手法について、症例を交えて解説する。

11 III級不正咬合の治療

治療成功のための診断と治療オプション、アライナー治療独自の手法(プレジジョンカット、パワーリッジ、ルートコントロール用最適アタッチメント)、IPR、III級ゴムによるエラストックジャンプ、順次遠心移動などの手法について、症例を交えて解説する。

12 下顎切歯抜歯治療

治療成功のための症例選択、抜歯について検討すべき事項、ClinCheckの診断用セットアップとしての活用、切歯抜歯治療において必要となる歯根傾斜、Boltonディスクレパンシーの管理について、症例を交えて解説する。

13 小臼歯抜歯治療

小臼歯抜歯治療において重要となる固定の概念、抜歯スペース閉鎖時の生体力学の問題、よく見られる併発症を解説し、それをふまえた症例選択やClinCheckによるステージングについて、症例を交え論じる。

14 外科的矯正治療

術前矯正として外科的矯正治療と併用可能なアライナー治療について、症例を交えつつその診断や治療計画を解説する。また術後のフィニッシングや保定も詳解する。

15 インターディシプリナリー治療 (多分野の専門医による総合的治療)

インプラントを用いた修復治療とTADを用いた矯正歯科治療を中心に、インターディシプリナリー治療におけるアライナー治療の活用について論じる。